



デバイスの枠を超え情報の所有を実現する
Timelineサービス

IPA未踏ソフトウェア創造事業
2005年度下期開発者
Timeline Networks 中島 薫

「知識を貯める」
「自在に取り出す」
「情報を所有しよう」

ここにある情報が、なぜ即座に携帯電話から取り出すことができないのか？

なぜデバイスが変わる毎に情報が失われ、また同じ内容を入力しなくてはいけないのか？

昨日見た情報をもう一度取り出すのがなぜこれほど面倒なのか？

MyTimeline.jpは、そんな当たり前のようにできていない、「情報の所有」の実現を目指すサービスの提供を目指します。

<http://www.timelinenetworks.com/>

<http://mytimeline.jp/>

IPA未踏ソフトウェア創造事業 2005年度下期開発テーマ
デバイスの枠を超え情報の所有を実現するTimelineサービス
成果概要

- 実現した主要な機能、特徴など
 - Webブラウザしているだけで、自分の見た情報が保存される、ブックマークや履歴を超えた情報管理ツール
 - 情報はサーバーに保存され、URLや表示形式に縛られず、どこからでも、様々なデバイスで、最適な形式で取り出し可能
 - 時系列はもちろん位置情報やキーワード検索など様々な形で絞り込みこれを活用することが可能
 - 既存のWebサイトをそのまま利用
 - サービスの枠を超えて情報を活用可能
 - 例: グルメサイトで見えた店舗情報を歩行者ナビの目的地に直接設定することなども可能
 - サービスURL: <http://mytimeline.jp/> (限定公開中)
 - 動作デモ(YouTube動画): <http://www.youtube.com/watch?v=J0e83z4Qsvw>
- 市場(あるいはユーザ)にもたらす効果
 - PC・モバイルコンテンツと位置情報をより強固に結びつけ、高い利便性を提供することで、利用者のモバイルWeb利用頻度を大幅に向上させます
 - 情報の所有を実現することで、デジタルコンテンツの本来持つ価値を高めます
 - デバイスにとらわれず、情報へのアクセスを可能とすることで、これまで十分に活用されてこなかったPDAやカーナビ、デジカメ、情報家電などの可能性を広げます
- 市場(あるいはユーザ)に向けたメッセージ
 - こんなことはよくありませんか?
 - 外出先の地図を印刷して持ち歩く
 - あのお店の場所とか電話番号とか覚えてる?
 - とりあえずファミレスや居酒屋チェーン店でいいか...
 - あの本なんてタイトルだけ?
 - MyTimeline.jpサービスを利用すれば、なんとなくWebブラウザしただけの情報が、いつでもケータイやPDA(そして将来はカーナビ)などから手軽に取り出せるようになります。

